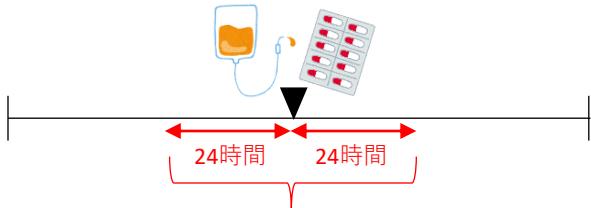
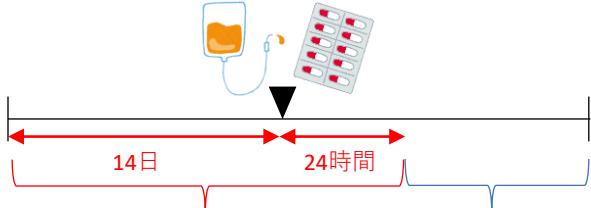


# G-CSF製剤の適正使用 に関するお願い



G-CSF製剤（フィルグラスチム、ノイトロジン、ジーラスタ）をがん化学療法後的好中球減少症の治療または発症予防に対し使用する場合、**抗がん剤投与と同日にG-CSF製剤を投与することはできません**。抗がん剤投与から適切な間隔を空けての投与をお願いいたします。

※ジーラスタの適応は発症抑制のみであり、治療的投与は承認されていません。

| 薬剤名・外観  | がん化学療法後的好中球減少症に<br>対し使用する場合の注意点   |
|---|---|
| <br>フィルグラスチムBS注シリンジ<br>「モチダ」75μg、150μg、300μg | <p>がん化学療法剤の投与前24時間以内<br/>及び投与終了後24時間以内の本剤の<br/>投与は避ける。</p> <p>抗がん剤</p>  <p>24時間 24時間</p> <p><b>投与を避ける</b></p> <p>化学療法剤投与前24時間以内のG-CSF製剤の投与は、G-CSF製剤投与により増殖が促進されている骨髄細胞に抗癌剤が強く作用し、骨髄細胞への抗癌剤の細胞障害性（骨髄抑制）がより強く発現する可能性がある。<br/>また、化学療法剤投与終了後24時間以内にG-CSF製剤を投与した場合、抗癌剤の血中濃度持続による骨髄抑制作用と、骨髄細胞への本剤の増殖促進作用が拮抗しG-CSF製剤の効果が十分あらわれない可能性がある。※1</p> |
| <br>ノイトロジン注<br>50μg・100μg・250μg            | <p>がん化学療法剤の投与開始14日前から<br/>投与終了後24時間以内に本剤を投与<br/>した場合の安全性は確立していない。</p> <p>※なお、G-CSF製剤の投与日が別途規定されている<br/>レジメンに関してはこの限りではありません。</p> <p>抗がん剤</p>  <p>14日 24時間</p> <p><b>安全性は確立していない</b></p> <p><b>投与推奨期間</b><br/>抗がん剤投与終了後<br/>24～72時間</p> <p>海外試験成績では化学療法施行終了からジーラスタ投与までの期間が短いと薬効が減弱する可能性が報告されている。※2</p>                                 |
| <br>ジーラスタ皮下注3.6mg                          | <p>※投与方法や注意点など詳細は<br/>DIニュース2018年1月1号をご参照ください。</p>  |

参考資料：※1ノイトロジンIF、※2ジーラスタIF、その他各添付文書、IF